

- 問1 3世紀の弥生時代、倭の邪馬台国の女王である卑弥呼がおこなった外交について述べた文として、正しいものはどれか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
- 冠位十二階を定めて個人の才能や功績に応じた位を与え、中国との交流を深めた。
 - 大宝律令によって定められた「調」という税として、各地から絹などの布を集めた。
 - 中国の魏の皇帝に使いを送って絹などを贈り、親魏倭王の称号と金印を授けられた。
 - 平清盛が大輪田泊を修築したことで、中国との間でさかんに貿易が行われるようになった。
- 問2 弥生時代に始まった、青銅器と鉄器の使い分けに関する背景について、正しい説明はどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- 鉄器が実用的な武器や工具に用いられる一方で、青銅器は主に集団をまとめるための祭礼や権威の象徴に特化していった
 - 青銅器は弥生時代の中頃に全て回収され、その原料はすべて鉄器の製造に再利用された
 - 石器から鉄器への移行を嫌った指導者たちが、妥協案として青銅器を儀式に導入した
 - 青銅は鉄よりも耐久性に優れていたため、大規模な土木工事の道具としてのみ使われた
- 問3 弥生時代に本格的に始まった稲作において、収穫の際に用いられた石包丁の使用方法について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- 稲の穂の部分をつまみ取るために用いられた
 - 収穫した後の脱穀を行うために用いられた
 - 稲を根元から刈り取るために用いられた
 - 土を掘り返して苗を植えるために用いられた
- 問4 3世紀の日本の様子を伝える中国の歴史書『魏志倭人伝』の記述に基づき、当時の社会や統治の状況として正しい説明はどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- 墾田永年私財法が制定され、新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることが認められた。
 - 邪馬台国の女王である卑弥呼が、乱れていた多くの国をまとめ、約30の国を従えていた。
 - 唐から来日した鑑真が仏教の戒律を伝え、国内の寺院の整備が進められた。
 - 聖徳太子が冠位十二階を定め、家柄にとらわれず才能のある人物を役人に登用した。
- 問5 弥生時代に造られた、掘立柱によって床を高い位置に設けた建築物の特徴と目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
- 大陸から伝わった仏教の儀式を行うための施設として、屋根に瓦をふき、床に石を敷き詰めて造られた。
 - 地面を円形や方形に掘り下げ、その上に屋根をかけた人々の住居として、防寒性を高める工夫がなされた。
 - 貴族が政治や生活を行うための住居として、池を中心とした広い庭園に面して複数の建物が廊下で結ばれた。
 - 収穫した稲を貯蔵するために造られ、湿気を防ぎ、ネズミなどの害獣の侵入を防ぐ工夫が施された。
- 問6 弥生時代に製作された青銅器の一種で、兵庫県の五十六点や島根県の五十四点をはじめ、滋賀県や和歌山県といった近畿地方の府県で多くの出土が確認されている、豊作を祈るなどの祭礼に用いられた道具を何というか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
- 勾玉
 - 銅矛
 - 石包丁
 - 銅鐸
- 問7 紀元前4世紀頃から稲作が普及し始めた弥生時代において、近畿地方を中心に多く発見されている、釣鐘のような形をした代表的な青銅器の名称は何ですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- 銅鐸
 - 勾玉
 - 埴輪
 - 前方後円墳
- 問8 中国の歴史書とそこに記された倭(日本)に関する記述の組み合わせについて、記述内容から判断して「魏志」倭人伝の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
- 邪馬台国の卑弥呼が使いを送り、死後には大きな塚が作られて100人余りの人々が殉葬されたとする記述
 - 倭人が100余りの国に分かれ、朝鮮半島の楽浪郡に定期的に使者を送っていたとする記述
 - 倭王が中国の皇帝に対し、自らを「日出づる処の天子」と称する国書を送ったとする記述
 - 倭の奴国の王が後漢の皇帝から金印を授かり、のちに倭国全体で大きな乱れが起きたとする記述
- 問9 弥生時代の遺跡から発掘された人骨の中には、石の鏃(やじり)が刺さっていたり、鋭利な刃物によるものと思われる殺傷跡が残っていたりするものが多数見つかっています。このような人骨の発見から、当時の社会状況について推測されることとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- 青銅器である銅鐸や銅鏡を、死者の権威を示すための副葬品として埋葬し始めたこと
 - 水田稲作の普及にともない、土地や水をめぐる集落間の争い(戦い)が激しくなったこと
 - 古墳と呼ばれる巨大な墓を造るために、強制的な労働によって多くの犠牲者が出たこと
 - 狩猟や採集を中心とする生活の中で、獲物を奪い合うための小規模な小競り合いが増えたこと
- 問10 中国の歴史書『魏志倭人伝』の中で、邪馬台国の女王が即位した経緯や背景について説明した一節があります。その内容として最も適切な説明を次から選びなさい。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
- 大規模な干ばつや飢饉が続いたため、農業の神に仕える特別な血筋を持つ女子を王とした。
 - もともと男子を王としていたが、国の中が乱れて数年も互いに攻め合ったため、一人の女子を王とした。
 - 仏教の教えを広めることで民衆の心を安定させるため、優れた徳を持った女子が大陸から招かれて王となった。
 - それまでの世襲制を廃止し、中国の皇帝による直接的な任命によって、最も外交能力の高い女子を王とした。
- 問11 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、銅剣や銅矛、銅鐸などの青銅器は、時代が進むにつれて本来の武器としての役割から変化し、どのような目的で用いられるようになりましたか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- 定期市で品物を交換するための貨幣
 - 巨大な古墳を築造するための土木用具
 - 仏教の教えを広めるための儀式用具
 - 豊作などを祈るための祭りの道具
- 問12 弥生時代の遺跡からは、青銅器と鉄器という二種類の金属器が発見されています。鉄器が農具の刃先として普及したことが、当時の社会に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- 石器に比べて加工が簡単だったため、各家庭で容易に自給できるようになった。
 - 青銅器よりも希少価値が高かったため、王の権威を示すための宝物としてのみ扱われた。
 - 土地の開墾や耕作が容易になり、食料である米の生産力が向上した。
 - 農具が重くなったことで、小規模な家族単位での農業が不可能になった。